

◎連続掲載 未来へのたすき  
／市総合防災訓練を実施



◎連続掲載 未来へのたすき／市総合防災訓練を実施

## 放射能に関する情報

### ■平成25年産米の全量全袋検査にご協力を

県では、県産米のより一層の信頼向上と安全・安心の確保のため、昨年に引き続き、米の放射性セシウム濃度を検査する「全量全袋検査」を行います。この検査は、出荷・販売する米はもとより、自家消費用米や縁故米、食用となる「くず米」など、すべての米が対象となります。

生産者の皆さんにはお手数をお掛けしますが、「全量全袋検査」の必要性をご理解いただき、販売、譲渡、消費等は、必ずすべての米袋を検査したうえで行うようご協力をお願いします。

☎しらかわの恵み安全推進協議会（本庁舎農政課内）☎1111内2224



## Topic

### ■生産者と消費者が“食”で意見交換

9月6日、マイタウン白河（本町）で、「みんなで話そう食の安全」をテーマに意見交換会が行われました。

生産者として市内の農業の担い手による団体「白河市認定農業者協議会」の会員が、消費者としてマイタウン白河内にある子育てサークル「おひさまひろば」に登録している保護者等が出席しました。

生産者からは、「地元産の野菜等が安全だという信頼はどのようにすれば得られるか」、消費者からは「放射性物質の検査はどのようにして行われているか」などの質問が出されました。生産者から、検査を含む出荷までの詳しい説明を受け、「安全性を信用して地元産の美味しい野菜等を食いたい」との声が聞かれました。

市では、このような取り組みを今後も継続して行います。

☎本庁舎農政課☎1111内2225



5	4	2	1
7	6	3	
8			

- 1・2 救助訓練
- 3 放水訓練
- 4 倒壊家屋救出救助訓練
- 5 初期消火訓練
- 6 通信訓練
- 7 負傷者救護所設置訓練
- 8 訓練の講評

大切さを再認識することができました。

### 日ごろからの備え

自然災害はいつ起こるか分かりません。「そのとき」どう対応し、どう行動すべきなのか、日ごろからの防災意識とその備えが重要です。

市は、あの日の教訓を生かして、関係機関や地域団体と連携しながら、防災力を強化していきます。

☎本庁舎生活環境課☎1111内2166

# 「そのとき」に備える

日ごろの「備え」がいかに重要であることを思い知った東日本大震災。市では、あの日の教訓を生かし、「総合防災訓練」を実施しました。

備えあれば憂いなし。今月号では、災害に対する防災力を高めるための取り組みをお知らせします。

### 「ブラインド型」の訓練方法

8月25日、市総合運動公園（北中川原）で「総合防災訓練」が行われました。白河消防署や白河警察署、陸上自衛隊など関係機関のほか、地域の自主防災組織など、約600人が参加し、災害に対する備えを確認しました。

今回は、台風接近時に大地震が発生したという複合災害の想定で「ブラインド型」の訓練方法を採用しました。この方法は、事前に訓練シナリオを知らせず本部が提供する情報をもとに、参加者が必要な処置を決定していくもので、ライフラインの応急復旧訓練や避難所運営訓練など、23項目30種目の訓練を行いました。

### 訓練の効果

シナリオがないことで、訓練に緊張感が生まれました。そして、一人ひとりが自分の役割を真剣に考え行動したことで、積極性や柔軟性が培われました。また、個人や団体が、互いに協力し合うこと